

# 令和5年度事業報告及び決算報告等について

## I 令和5年度事業報告

### 第1 概 況

本道の酪農・畜産は、近年、経営者の高齢化や後継者不足による農家戸数の減少、労働力不足、進展する国際化への対応、海外悪性伝染病に対する防疫体制の強化、自然災害への備えなどが課題となっている。

また、気候変動による世界的な食料生産の不安定化、世界的な食料需要の拡大による食料調達の高騰、輸入食品原材料の価格高騰、化学肥料原料の輸出規制などにより、我が国の食料安全保障の強化が課題となっている。

令和5年の本道農業は、春以降、平年を上回る高温が続き、各作物の生育は総じて順調に進んだが、夏場の猛暑により、畑作物などで収量の減少や品質の低下、牧草の夏枯れ、畜産では、乳量の減少、疾病の増加、繁殖成績の悪化などの影響があった。

酪農・畜産の状況は、新型コロナウイルスの「5類」移行により、行動制限が解除され、経済活動が活発化した。しかし、国際情勢や円安などの影響により配合飼料など生産資材価格が高止まりとなる中、物価高騰による消費者の節約志向により、畜産物の需要が低迷し、生乳の生産抑制や初生牛、肉用子牛などの販売価格が低下するなど、厳しい状況となった。

こうした状況の中、本協会としては、本道の酪農・畜産の経営の安定と生産基盤の強化を図るため、畜産経営の診断・指導の取組強化による経営改善指導事業、和牛の改良や生産基盤の強化、担い手の育成、和牛ブランドの創出等の畜産生産振興事業、第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会の運営、肉用牛肥育経営安定交付金の交付等事業、めん羊や和牛の登録推進事業、機械施設リース事業、畜産クラスター関連事業などについて、関係機関・団体と連携を図りながら的確に推進した。

### 第2 事業の実施状況

#### 1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

##### (1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 71,518 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

##### (2) 新規就農者定着促進調査事業（北海道農業公社/委託 1,815 千円）

公社営農場リース事業を活用した新規就農者等について、その経営が計画性をもって担い手として定着できるよう、経営状況の調査及び診断を行った。

経営診断・分析支援

11 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/5,187千円）

畜産経営の改善を図るため、経営分析・診断を行い、農協等と連携して効果的な指導を実施した。

・簡易分析	15農協	678戸
・総合診断	18農協	66件
・フォローアップ	5件	
・シミュレーション	1件	
・モニタリング	4件	
・研修会開催	2箇所	

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助32,115千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

・協議会活動の企画・調整等	6回
・経営事例調査	75件

② 融資機関への指導・助言

・研修会等	4箇所（札幌、旭川、帯広、釧路）
・巡回指導	1箇所（オホーツク）
・中央現地調査	4地域（石狩、後志、空知、留萌）

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

・計画作成指導等	22件
・濃密指導（月次モニタリング）	10件

(5) 地域畜産支援指導等体制強化事業[相談窓口]（中央畜産会/委託2,500千円）

畜産経営の課題解決を図るため経営相談窓口を設置した他、関係機関や生産者との意見交換を行うため検討会を実施した。

検討会等	6回（十勝、釧路、宮崎県、鳥取県他）
------	--------------------

## 2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛産地確立推進

（北海道・ホクレン・ジェネティクス北海道/補助他28,100千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 和牛繁殖基盤造成

・ゲノム育種価評価	500頭	21集団	11,250円/頭
・現地検討会	1回		

② 育種改良組織等の活動強化			
・ 現地検討会	1 回		
③ 高能力繁殖雌牛活用推進			
・ 高能力繁殖雌牛認定	94 頭		
・ ゲノム育種価評価	53 頭	13 集団	11,250 円/頭
・ 育種牛認定	29 頭		100,000 円/頭
④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策			
・ 早期市場評価奨励		45 頭	30,000 円/頭
⑤ 道内肥育推進対策			
・ 道内出荷流通拡大奨励		240 頭	50,000 円/頭
・ 道内肥育出荷推進対策		57 頭	100,000 円/頭
・ 肥育研修会開催		2 回	
⑥ 早期肥育出荷技術モデル実証	2 戸	10 頭	150,000 円/頭
⑦ 枝肉改良共同研究			
・ 枝肉横断面における脂肪交雑形状の指標評価・活用法の開発			帯広畜産大学
・ 肥育牛の早期出荷に適した育種価評価法と育成・肥育技術			畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 78,795 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

・ 繁殖雌牛の増頭に対する助成			
育種価等要件達成	224 頭	80 千円	100 千円/頭
・ 肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内）	10 利用組合		
・ 簡易牛舎等の整備に対する助成（1/2 以内）	9 団体		

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

・ 褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成	72 頭		690 円/日・頭
・ 離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成	85 頭	6,800 円	7,000 円/頭
・ 日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成			1 生産者集団

③ 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援

強化哺乳技術の活用等の取組みを実施した肉用子牛生産者に対して家畜市場への早期出荷頭数に応じた奨励金を交付した。

・ 早期出荷支援頭数	1,182 頭	6,000 円/頭
------------	---------	-----------

(3) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構/補助 4,156 千円）

停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について支援を行った。

非常用電源の整備	3 団体
----------	------

(4) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：生産基盤拡大加速化

(全国肉用牛振興基金協会/委託 4,998 千円)

畜産クラスター計画に基づき、優良な和牛繁殖雌牛を増頭した生産者に対して奨励金を交付する事業の推進業務を行った。

取組主体 59 農協等                      補助金額                      265,277 千円

(5) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

・和牛技術研修会	16 回
・和牛振興推進会議	2 回
・和牛振興委員研修会（札幌）	1 回
・和牛生産農家後継者研修会（札幌）	1 回
・和牛女性部研修会（札幌）	1 回
・畜産関係新技術発表会	1 回
・和牛振興研修会	17 回

② 産肉能力育種価評価の実施と公表（6 形質・オレイン酸・新細かさ指数）                      2 回

③ 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断                      11 回

④ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等                      51 回

⑤ 全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会                      2 回

⑥ 家畜改良事業団現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会                      10 回

⑦ ジェネティクス北海道現場後代検定種雄牛産子及び枝肉調査                      20 回

⑧ 和牛育種事業強化支援の実施（びらとり和牛育種組合・十勝和牛育種組合）

⑨ 和牛経営定点調査の実施                      26 戸

⑩ 北海道ゲノム育種価事業の実施                      243 頭

⑪ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供

(6) 道産牛肉生産強化事業（北海道/補助 804 千円）

和牛生産の担い手や地域のリーダーの育成を目的として、飼養技術や審査技術に関する研修会を実施した。

研修会開催                      5 回

(7) 北海道和牛ブランド創出推進事業（北海道/補助 461 千円）

北海道産和牛の共通するブランド銘柄を創出し、道内外での認知度向上を図るため、関係者による懇話会を開催した。

- ・北海道和牛ブランド懇話会 2回

(8) 第13回全国和牛能力共進会事業

令和9年に北海道で開催する第13回全国和牛能力共進会において、日頃の改良の成果を展示し、北海道の種牛や肉牛を全国にPRするとともに、道内の飼養管理技術の向上や肉牛の生産基盤の強化を図るための取組みを行った。

- ① 出品対策部会 2回
- ② プロジェクト会議 3回

(9) 第13回全国和牛能力共進会実行委員会

令和9年に北海道で開催する第13回全国和牛能力共進会の実行委員会の運営に係る業務を実施した。

- ・実行委員会の開催（北海道ほか33団体） 3回（うち2回は書面開催）
- ・実行委員会幹事会の開催（北海道ほか16団体） 8回
- ・専門部会の開催
 

総務企画部会	3回
出品対策部会	2回

(10) 強い農業づくり事業：めん羊振興（北海道/補助43千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

- 研修会開催 1回（新得）
- めん羊共進会開催支援 1回（士別）

(11) めん羊登録改良事業

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

[登録・証明件数] (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	378	31	1,295
前年度対比	68.9	38.3	90.2

(12) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術情報冊子作成などの取組みを行った。

⑩ 北海道地方公営競馬振興協議会

地方競馬主催者と連携を取りながら、地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑪ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料の確保に向けた研修会を開催した。

⑫ 第 13 回全国和牛能力共進会北海道実行委員会

令和 9 年に開催する予定の第 13 回全国和牛能力共進会北海道大会実行委員会事務局として活動を行った。

⑬ 北海道和牛ブランド懇話会

生産者と流通関係者が一体となって、北海道和牛のブランド確立と全国有数の和牛産地としての地位を確立するための活動を行った。

⑭ 第 18 回北海道総合畜産共進会

各畜種部門（ホルスタイン種、肉用牛、馬）の共進会開催のため、実行委員会事務局としての活動を行った。

### 3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 115,536 千円）

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。

積立金造成及び交付金交付状況

#### ① 生産者負担金単価（単位：円）

品種区分	令和5年度
肉専用種	22,000
交雑種	17,000
乳用種	14,000

#### ② 交付金単価〔令和5年4月～令和6年3月販売分〕（単位：円）

品種区分	販売年月（交付は販売の翌々月）					
	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
肉専用種	50,758	122,208	117,325	128,943	182,513	157,528
交雑種	—	13,933	45,225	45,701	56,643	53,065
乳用種	45,047	45,099	32,263	37,302	32,547	—

品種区分	販売年月（交付は販売の翌々月）					
	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
肉専用種	182,517	130,053	100,012	94,394	130,887	132,800
交雑種	51,198	16,210	—	—	—	—
乳用種	—	—	6,732	15,795	18,615	35,480

※R6.1～2は、概算払い

#### ③ 交付金交付実績（単位：頭・円）

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	34,722	1,034,462,111	3,103,383,755	4,137,845,866
交雑種	53,111	461,923,017	1,385,767,568	1,847,690,585
乳用種	76,745	612,636,525	1,837,908,043	2,450,544,568
合計	164,578	2,109,021,653	6,327,059,366	8,436,081,019

※R5.1（精算）～R6.1（概算）販売分

## ④ 基金管理実績

(単位：円)

品種区分	期首残高	期 中		期末残高
		増 加	減 少	
肉専用種	908,843,913	772,856,622	1,034,462,111	647,238,424
交 雑 種	1,391,956,674	1,071,345,278	461,923,017	2,001,378,935
乳 用 種	1,289,943,211	1,327,801,318	612,636,525	2,005,108,004
合 計	3,590,743,798	3,172,003,218	2,109,021,653	4,653,725,363

## 4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、PR活動を行った。

地域畜産支援指導等体制強化事業[地方競馬] (中央畜産会/委託 600千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 1回 (日高)  
2回 (帯広)

## 5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

[登記・登録件数] (単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	79,617	8,595
	前年度対比	102.1	86.8
褐毛和種	件 数	348	63
	前年度対比	94.6	98.4
日本短角種	件 数	215	64
	前年度対比	123.6	77.1
外国種	件 数	60	21
	前年度対比	100.0	87.5

[登録審査員の養成及び技術向上]

登記・地方審査委員合同研修会 1回  
 登記検査委員資格認定研修会 2回  
 新任畜産技術員研修会 1回  
 中堅技術員研修会 1回  
 登録窓口担当者会議 1回



## 6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・新品バルククーラー他	5	28,501	75.8
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	20	110,485	47.2
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	0	0	0.0
合 計		25	138,986	50.6

## 7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/補助 46,288 千円）

畜産クラスター計画に基づき、地域の関係者が連携して地域全体の収益力向上を図るため、畜産経営体がコスト削減や収益力向上等に資する機械を導入する事業を行った。

配分件数 84 協議会 補助金額 6,666,470 千円

(2) 畜産経営体生産性向上対策事業：畜産 I C T（中央畜産会/委託 2,755 千円）

酪農経営や畜産経営の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援する事業の推進業務を行った。

実績件数 30 会議 補助金額 357,888 千円

(3) 酪農緊急パワーアップ事業：楽酪 G O（中央畜産会/委託 8,853 千円）

酪農経営における労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入及びそれと一体的な施設の整備等を支援する事業の推進業務を行った。

実績件数 6 会議 補助金額 588,056 千円

(4) クラスター全国実態調査事業（中央畜産会/委託 6,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営調査を行った。

調査件数 60 件

- (5) クラスタ改善効果事業（中央畜産会/委託 450 千円）  
畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象に、その効果に関する調査を行った。  
調査件数 3 件
- (6) 課題解決サポート調査事業（中央畜産会/委託 5,379 千円）  
日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。  
実施件数 25 件
- (7) 軽種馬経営実態調査事業（中央畜産会/委託 1,741 千円）  
軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。  
調査件数 10 件
- (8) 全国優良畜産経営管理技術発表会（中央畜産会/委託 163 千円）  
道内の優良な畜産事例を調査し、中央畜産会が主催する発表会に推薦した。  
肉用牛 1 事例
- (9) 生産技術情報提供事業（中央畜産会/委託 5,340 千円）  
家畜の生産力を最大限に発揮させるため、家畜生産性に係るデータの収集及び畜産経営体の技術成績における課題改善指導を行った。  
酪農経営 60 戸
- (10) 経営指導技術向上事業：研修派遣（中央畜産会/委託 1,056 千円）  
畜産経営支援指導のスキルの習得・向上を目的として、職員の育成に必要な研修会に職員を派遣した。  
派遣件数 23 件
- (11) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 9,634 千円）  
日本政策金融公庫等金融機関、十勝畜産農業協同組合等と締結した「ABL 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛の動産を担保に金融機関から運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。  
モニタリング 16 件
- (12) 地域連携支援事業（日本政策金融公庫/委託 300 千円）  
公庫資金が地域の実態に応じて総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と課題解決に向けた研修会を開催した。  
研修会等の開催 1 回
- (13) 草地難防除雑草駆除技術実証事業：R4 補正（日本草地畜産種子協会/委託 5,781 千円）  
飼料自給率向上緊急対策事業：草地改良技術等普及対策  
：R5 補正（ ” /委託 256 千円）

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換等を進める事業の推進指導を行った。

事務取扱 [R4 年度補正分] 47 地区 [R5 年度補正分] 50 地区

(14) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,045 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。また、農協等に対し同事業の普及啓発を図るため、新規開拓調査を行った。

調査指導 32 基

新規開拓調査 4 農協等

(15) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 3,410 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域 4 地域

(16) 自給飼料改善指導事業（ホクレン・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,350 千円）

近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料基盤の向上及び改善のための研修会等を開催した。

自給飼料生産優良事例発表会の開催 1 回

自給飼料改善協議会セミナーの開催 1 回

(17) 大規模酪農経営体経営実態調査事業（北海道/委託 947 千円）

規模拡大を行う酪農経営の参考にするため、道内の優良な大規模酪農経営の調査分析を実施した。

調査件数 6 件

(18) 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業（日本畜産物輸出促進協会/委託 500 千円）

畜産物輸出に対する生産者の理解醸成、意識向上を目的として、輸出相談窓口の設置・運営及び生産者に対する普及・啓発を行った。また、輸出に係る相談に対応するため、調査を実施した。

普及・啓発件数 12 件

調査件数 2 件

## 8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

### 第3 会議等の開催

#### 1 総 会

令和5年度 通常総会 — 原案どおり議決 —

令和5年 6月29日

〔議 事〕

議案第1号 令和4年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 令和5年度役員報酬について

議案第3号 令和5年度会費負担額及び納入について

議案第4号 役員改選について

報告事項 令和5年度事業計画及び収支予算について

#### 2 理 事 会 議決事項及び報告事項

〔第1回〕 — 原案どおり議決 —

令和5年6月 5日

- ① 令和5年度通常総会付議事項について
- ② 令和5年度通常総会の開催について
- ③ 役員推薦会議における推薦委員の選任について
- ④ 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

〔第2回〕 — 原案どおり議決 —

令和5年6月29日

役員理事の互選について

〔第3回〕

令和5年11月20日

報告事項 事業の実施状況等について〔4月～10月〕

〔第4回〕 — 原案どおり議決 —

令和6年3月25日

- ① 令和6年度事業計画及び収支予算について
- ② 会員の入会について
- ③ 諸規程の改正について

#### 3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会

令和6年 2月 8日

- ① (公社)全国和牛登録協会通常総会報告について
- ② (一社)北海道酪農畜産協会登録事業について
- ③ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会

令和6年2月29日

- ① 北海道の和牛改良の推進状況について
- ② 北海道推奨種雄牛について
- ③ 全国和牛能力共進会について

## 4 監 査

[監事監査]

令和 5 年 5 月 30 日

令和5年度監事監査（令和4年度決算分）

[内部監査]

総務部

第1回 令和 5 年 8 月 21 日、22 日

第2回 令和 6 年 1 月 23 日、24 日

## 第4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	4年度 期 末	5年度		5年度 期 末
		増	減	
会 員	205	1	—	206
団 体	54	—	—	54
農 協	82	1	—	83
市町村	69	—	—	69

[役職員]

項 目	4年度 期 末	5年度		5年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	4	4	12	うち常勤理事1名
理 事	10	4	4	10	
監 事	2	—	—	2	
職 員	49	4	5	48	

## 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。